

こんにちは、Aブロックの戸間替です。昨年4月に入職し、1年間働いてきました。今回私が担当させていただいている、Mさんの支援について発表させていただきます。担当業務を任されてから約半年間で、取り組んだ3つのことを紹介します。

1つ目は日用品の新調です。Mさんは物品や衣類を大事に使われており、同じものを長く使用されておりました。しかし毎日使うものであるため、衛生面を考慮し新調をしたいと考えておりました。長い時間使っていたもののため新しいものを購入するとご本人が混乱するのではないかという不安もありましたが、ご本人が自身の物品であると判断しやすいように、使っていたものと近い色・デザイン・キャラクターのものを選んだり、名前のテープを貼り交換しました。使い始めは迷う様子もありましたがすぐに慣れて使用していただけました。そして衣類ですが、過去には同じ服のみを選択するという拘りがみられていたという先輩の話聞き、同様の色・パーカーなどの帽子や紐がついているものを避けて購入しました。現在は衣類に対しての拘りも見られず、落ち着いて過ごされております。

2つ目は食事のふりかけ支援です。ふりかけ支援は以前から行われておりましたがご本人の要求が減っておりました。ふりかけを要求しやすいように、現物を提示したり、チョイスを提示しふりかけたりなど積極的に職員から働きかけました。そしてご本人がふりかけを欲しい時に、好きなふりかけを選択できるようにしました。どのふりかけを好んでいるのかアセスメントを実施して好き嫌いも判断でき、種類を増やし飽きが来ないようにすることができました。食事の残食率が高く体重減少が心配されておりましたが、適正体重を維持することができています。栄養士の方とも食事内容について検討を重ねており、これからも継続して食事支援を行っていきます。

3つ目はバランスボール、トランポリンの実施です。入所前の資料を読み、体を動かす余暇を楽しんでいたという情報を知りました。過去には運動が高揚感に繋がってしまい、不調になることもあり全身を大きく使う活動は実施されておりました。しかし現在は状態が落ち着いていることも考慮し、様子を見守りながらタイマーを使って実施することを考えました。タイマーで見通しが持てるようにして実施することで、時間内で落ち着いて取り組むことができました。高揚の場面もみられますが、違う活動に移行することで切り替えができています。運動不足にならないように、ご本人が楽しめて継続ができる運動を実施していきます。

これからも、ご本人の状態をしっかりみながら支援を継続・提供していきたいと思っております。